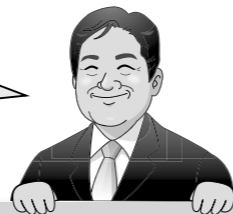


一緒に元気なまちを  
つくりましょう



今後の4年のキーワード

● 将来を担う子どものために  
学びやすいまちづくり

いじめや不登校の未然防止を図り、小中学校の大規模改修を進めるなど、学習環境を整備・充実し、学力アップを推進します。

また、小中学生が安全に安心して登下校できるよう通学路を整備します。

● 働く女性のために  
子育てしやすいまちづくり

生まれてから小学校入学までの子どもを一貫して保育・教育する『こども園』のモデル園を選定し実践します。

また、学童保育室を全小学校の敷地内に整備します。

● 誇れる郷土のために  
特色あるまちづくり

渋沢栄一の生誕地や学問の師である尾高惇忠の生家周辺を『論語の里』として整備し、世界遺産候補『富岡製糸場と絹産業遺産群』と連携して観光を盛り上げます。

● 高齢者のために  
安全・安心を実感できる  
まちづくり

高齢者が自宅内で安全に生活できるよう、住宅を改修するための制度を構築します。

また、特定健診や各種がん検診などの受診率の向上を図り、市全体で健康づくりの機運を高めるために、受診したかたや健康づくり関連事業に参加したかたがポイントを取得し、健康づくり啓発品と交換できる『健康マイレージ』事業を推進します。

● 経済活力のために  
働く場所・都市基盤を整える  
まちづくり

新たな産業拠点となるアウトレットモールを核とした花園インターチェンジ拠点整備プロジェクトを進めます。

また、老朽化が進み維持管理費も多大になっている公共施設について、市民の皆さんの声を聴きながら、適正な配置を図っていきます。



元気「深谷」  
はじまる。



小島市政新たな4年へ

1 2月12日2期目初当庁  
2 1月27日市役所で当選証書を受け取る小島市長  
3 新たな4年を前に、市役所玄関前で職員に「頑張ろう」と声掛けをする小島市長

1月26日に執行されました深谷市長選挙において、小島進氏が当選され、2月12日、深谷市長に就任しました。小島市政のこれまでの4年間は、長引く景気の低迷に加え、国政の混乱や東日本大震災の発生も相まって、大変厳しい社会情勢でした。しかし、市民の皆さんのご協力のもと、市民参加と協働の理念を掲げ、財政規律の強化や2022自治会との対話会を通じ、子育て支援や教育環境の充実などに重点を置いた施策を展開してきました。

こうした施策の成果を結実させるために、企業誘致など今後自主財源確保の取り組みを強化します。そして、国の動向に左右されない、自主自立した市政運営を目指し、福祉、子育てなど扶助費の増加に備えなければなりません。市では、小島市長の新たな任期の始まりに当たり、元気で快適な市をつくるために、今後の4年間の次の5つのキーワードを柱に、市政運営をしてまいります。これからは手を携え市民・行政一丸となって、『住み良いまち深谷』を築いていくため、市民の皆さんには引き続きご協力をお願いします。

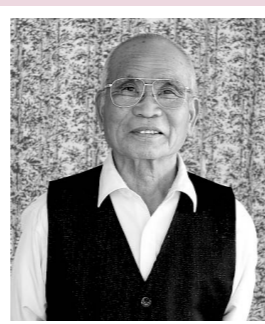
市民の声!

市長さんに伝えたいあんなことやこんなこと。そんな市民のひとことインタビュー



加藤孝子さん(黒田在住)

新しい花園公民館を気持ちよく使わせていただいています。支所の機能も一緒になって便利になりました。あとは交通手段がもっと充実するといいですね。



高田保一さん(岡在住)

健康のため、ダンスや川柳などを行い、体や頭を使うことを意識しています。市には、健康づくりや地域交流の活性化に取り組んでいただきたいです。



大坪宏美さん(上原在住)

働きながら子育てをしています。深谷は子育て環境が充実しているので大変助かっています。これからも、健診やサービスなどさらに増やして欲しいです。



芹田洋昭さん(原郷在住)

中の家で解説員をしています。とても良い場所なので、もっと多くのかたに訪れてもらいたいですね。そのために、積極的なPRと整備をお願いしたいです。

協働の推進

産業の発展

健全な財政

— 4月1日(火)から —

# 市の組織が変わります

社会経済環境の変化を受け止め、市を取り巻く公共的課題の解決を効率的かつ効果的に行うことを目的に、以下の通り平成26年度市役所組織の改正を行います。

## 重点施策の推進のために

### 協働推進部を新設

より良い地域づくりを継続的に  
行つためには、市民と行政の共通  
理解が必要不可欠です。  
そこで、市民と行政が一体と  
なつて継続的な対話を行う機会を  
確保すること、また、地域課題の  
解決に向け、市役所内外のさまざ  
まな個人や団体の出会いをサポート  
するため、『協働推進部』を新  
たに設置します。



市民ガーデニングボランティア

協働推進部には、市における協

働の仕組みづくりを中心となつて  
展開する『協働推進課』を筆頭に、  
自治会、防犯などの地縁団体を中  
心とした地域振興を所管する『自  
治振興課』と、市内で先駆的に市  
民協働を実現している『ガーデン  
シティふかや推進室』を配置しま  
す。

また、設置のもう一つのねらい  
は、個人が尊重される地域社会の  
構築にあります。そこで、人権尊  
重を施策として展開する『人権政  
策課』を配置し、協働の観点に基  
づきながら、人権問題に対する正  
しい認識が地域社会に浸透、定着  
することを目指します。

### 産業拠点整備室を新設

『花園インターチェンジ拠点整  
備プロジェクト』など、市全体に  
波及する活性化の核となる産業拠  
点整備に対応するため、企業誘致  
推進室を再編し、新たに『産業拠  
点整備室』を設置します。  
産業拠点整備室は、花園イン



花園インターチェンジ

ターチェンジ拠点整備に係る事業  
を中心として、寄居スマートイン  
ターチェンジおよび国道140号  
バイパス沿線工業団地の産業拠点  
整備に関する事業の統括本部とし  
て設置します。

なお、これまで企業誘致推進室  
にあった企業誘致機能のうち企業  
窓口、工場等立地促進制度につい  
ては、産業振興部商工振興課に移  
管し、新規企業の誘致から市内既  
存企業の活性化までを一体的に推  
進します。

### 公共施設改革推進室を 新設

市内公共施設の老朽化や耐震化  
に伴う維持管理コストの増大は、  
市財政の健全性を保つ上で大きな  
課題となっています。現在市では、  
企画課において公共施設適正配置  
基本方針を基に、市民会議の開催  
などを通じて、これからの公共施  
設のあり方について検討している  
段階です。平成26年度からは、こ  
れまでの取り組みを基に、各施設  
の具体的な統廃合、長寿命化計画  
など、実施計画の策定に着手して  
まいります。

このことから、企画課から公共



総合支所機能を併せ持った花園公民館

施設改革推進室を課として独立さ  
せ、市全体としての公共施設の再  
編に向けた体制整備を行います。

### 協働推進部 (本庁舎2階)

#### 協働推進課

- 協働推進関係
- ふっかちゃん関係

#### 自治振興課

- 自治会関係

#### 人権政策課

- 人権教育・啓発関係

※同部のガーデンシティふかや  
推進室は緑の王国内にあります。

### 公共施設改革推進室 (本庁舎3階)

公共施設の適正配置

### 産業拠点整備室 (南別館3階)

花園インターチェンジなどの産業拠点  
整備

## きめ細やかな行政サービ ス提供のために

これまで以上にきめ細かな公共  
的課題への対応が可能となるよ  
う、担当事務の範囲を見直した体  
制整備を行います。

1 総務部総務課と自治防災課を再  
編し、『総務防災課』を設置します。

2 総務部総務課と検査室を再編し  
『契約検査課』を設置します。

3 福祉健康部福祉課を『福祉政策  
課』と『生活福祉課』に分課します。

4 教育部生涯学習課を『生涯学習  
課』と『文化振興課』に分課します。